

METTS NEWSLETTER

特集 新型コロナウイルス禍の中で！

明海大学教職課程センター長 副学長・外国語学部長 高野 敬三

COVID-19の感染拡大が収束しない中で明海大学は4月から臨時休校となりました。このことは、学生の皆さんにとってもそうですが、大学の教職員にとっても日本の教育史上これまで経験したことのない事態であります。こうした中にあっても教職課程センター(METTS)の教員は、これまで同様に皆さんに寄り添いしっかりと支援してまいりますので、保護者の皆さま方、学生の皆さんは、安心してください。以下にメッセージをまとめました。私のメッセージの他、裏面にはMETTSの教員がメッセージをまとめておりますので、それぞれ読んでみてください。

新たに教職課程を履修しようとする学生の皆さん

METTSでは、4年間かけて教員が皆さんを切れ目なく指導して、教員免許の取得や教員採用試験合格までのサポートをします。センター開設から4年が過ぎましたが、今年4月に中学・高校の国語と英語の正規教員となった方は12人に上ります。ぜひMETTSの仲間となり、皆で教員となる夢を実現しましょう。

教職課程履修の1年生から3年生の皆さん

5月25日から教職課程の科目の履修が遠隔授業で始まります。毎回の授業での課題は多いと思いますが、確実に指示どおりの学修をしてください。大学での対面授業という方法ではありませんが、各科目1回の授業につき事前・事後には、それぞれ2時間ずつ当該科目の学修をしてください。METTSの教員から個々に電話等で悩みや学修の相談に応じていきます。

教職課程履修の4年生の皆さん

来るべき教員採用試験や教育実習について不安でいっぱいだと思います。これまで4月と5月にMETTSからメールやレターパック、Googleクラスルーム等で試験や実習対策の課題をたくさん出してきました。METTSの教員からフィードバックされる模範解答等を基に粘り強く学修すれば、必ず夢は叶います。皆さんの居場所であるMETTSコモンズでの協働学修による切磋琢磨は不可能となり、孤独な勉強を強いられていることにMETTS教員は心を痛めています。これからもLINEテレビ電話相談等とおして、皆さんの心のサポートもしていきます。

新型コロナウイルス禍の中で学生や卒業生も頑張っています。

1日が目まぐるしく過ぎていく教育の現場で楽しさとやりがいを感じながら過ごしています。楽しいと感じることができるのも教職課程でしっかり基礎を学べたからだと思います。

習志野市立第五中学校教諭 佐藤 みゆき

この「いつも通り」ではいられない現状にあるため、教育実習すらあるかどうかはまだ明確ではありません。でも自粛期間に時間を有意義なものにするために教育実習に向けて自分の苦手分野の克服をすべく勉強に取り組んでいます。

日本語学科4年 柏 恵梨

例年とは異なる環境で本来学校で受けるはずの授業が受けられず、自主学習という形であるため大変不安ではありますが、皆同じ状況であると思えば絶対に教員になりたいという気持ちで日々勉学に取り組んでおります。 英米語学科4年 平原 豪



アゴラ活用状況(人)

4月 18

2018年度からの延べ数 26,960

教職課程センタースタッフからのメッセージ

教職履修科目をとっている全ての皆さんへ。「終わりのないトンネルはない」といいます。必ずこのトンネルは、終わりがやってきます。そのトンネルを抜け出た時のために、是非とも力を蓄えてください。静かにしているということではありません。今こそ自分を鍛えてください。また、是非ネットで辻仁成さんの「生き抜こう、人類にはまだ希望がある」(朝日新聞4月22日)を検索して読んでください。明日の日本を世界を信じて。

大池 公紀



集中力がカギ

外出自粛の中、皆さんはどのような生活を送っていますか？一人で学修することは辛いことが多いと思いますが、一方では自分のペースで学修できる利点もあります。そこで私からのアドバイスです。この時期の学修に大切なのは何といっても「集中力」です。ダラダラ続けるより ON/OFF の切り替えを明確にしてみましょう。

マスコミ等でも「学校教育の必要性」が取り上げられています。教職課程の学修はそれほど大切なものなのです。今は「自分の学修」に集中して取り組んでください。そして、人のために尽くせる「社会人」や「先生」になってください。

石鍋 浩

元気ですか！元気があれば、何でもできる！コロナにも勝てる。しかし、元気があるからと言って今は動き回ってはいけません。コロナに感染しないようにできる限り人に会わずに予防をすることで、自分だけでなく、自分の大切な人の命を守ることに繋がります。そうすれば、コロナに怯えずに元の生活ができる日がきっと来ると信じています。外出しないでいることは大変だけど、ピンチのときこそチャンスに変えられると私は信じています。今の状況をどう過ごすかは大きな違いを生み出すはず。みんなでこの危機を乗り越えよう！

金子 義隆

「間に合う、間に合わぬは問題ではないのだ。人の命も問題ではないのだ。私は、なんだか、もっと恐ろしく大きいものの為に走っているのだ」親友を己の身代わりに置いてきたメロスはなりふり構わず疾走する。意識的な行為を突き詰めた末に、意識が消失する瞬間が訪れる。その時、人生の真の意味が姿を現してくる。コロナ禍の中、一心不乱に勉強し、あなたの身体の動きの中のあなたを超える何かをつかんでください。走れ！メロスよ。

木内 和夫

皆さんの未来には、多様な生徒との出会いが待っています。これほどまで多様な人とたくさん出会って多様な考え方や感じ方に触れながら自分も変わっていける職業は教師を含めてそうたくさんはないでしょう。そういう価値ある教職に就くための準備は本当に大変ではありますが、是非とも教員免許状の取得と教員採用試験の合格を勝ち取ってください。

Where there is a will, there is a way.

坂本 純一

集団面接練習開始

2020年度は、20人の学生が各都県の教員採用試験を受験いたします。試験に向けて5月13日(水)から7月8日(水)までの9回にわたり、教職課程センターでは各都県採用試験受験生向けに集団面接、集団討議練習を実施します。5月13日の第1回講座にはコロナ禍の影響がありましたが、10人の学生が参加しました。集団面接・集団討論、個人面接のDVD視聴の後、昨年度までの試験内容をもとにMETTS職員から補足説明の指導を受けました。

5月20日からは、週1回数名ずつが集まり、実際の面接練習を受けながら7月12日の教員採用試験本番を迎える予定です。

頑張れ受験生！



このような状況下、世界の教員の多くが新しい教育方法を模索しながら自宅で過ごしています。教員がこうした時間を前向きに過ごせる理由は、その作業の先に生徒や学生の顔が見えるからです。私も履修者の皆さんがどんな反応を示すのだろうと想像しながら地道に教材作成に励んでいます。今まさに「想像力」が求められる時。世界の状況に目を向け、読書や映画を通して人の気持ちを想像する訓練を積みながら教員をめざしてください。

百瀬 美帆